

8月1日(水) 「歴史」 13:15~15:30

郷土史家 尾崎 行也 先生

「書き残された衣類 —江戸時代・庶民の着物—」

地域の人々がどのような着物を着ていたのか、残された史料から探り出してゆくことにします。思いがけない記録が、江戸時代の人々の着物を教えてくれます。

【講師紹介】 1933年 上田市生まれ。長野県内高校教諭を経て、長野県立歴史館・望月歴史民俗資料館等に勤務。現在、生涯学習団体上田社会教育大学等講師

【著書】 八十二文化財団、江戸庶民の生活史講座『近世銭勘定或問(わくもん)』『風呂屋・髪結・祭礼踊』『御用!』『江戸の旅』『古文書のなかの食』『さんざめく城下町』『江戸時代の家具・農具をさぐる』『書簡・廻状・風聞書』(いずれも八十二文化財団 2008~2016)